

名古屋丸の内ロータリークラブ Nagoya Marunouchi Rotary Club Weekly Report

例会会場：名古屋クレストンホテル
(TEL：052-264-8000)

例会曜日：木曜日 12時30分
クラブ会報広報委員長：岩田 宏
HP：<http://nagoya-marunouchi-rc.org/>

2024-25年度 R.I.テーマ
会長：ステファニー-A. アーチック



承認
会長
幹事
事務局
1995.03.28
加藤 豊
田中 如似
名古屋クレストンホテル
1007号
名古屋市中区栄 3-29-1
TEL 052-263-1324
FAX 052-263-0730
E-mail seinan1@fancy.ocn.ne.jp

加藤 豊 会長 年度目標：30周年を祝おう！ そして新しい時代を迎えるための楽しい体験を積もう！

第1272回 例会 No. 13 令和6年10月31日 (木)

米山月間卓話

- ローターソング 「それでこそロータリー」
- 出席報告 会員46名中26名出席
- 出席率 60.47% 出席計算人数43名
- スピーカー 米山奨学生 キム ジ ウォンさん
- ゲスト 青少年交換留学候補生 高橋英夏さん

会長挨拶

加藤 豊

皆さんこんにちは。米山月間という事で、本日はキムジウォンさんに卓話をお願いしています。キムさん、宜しくお願いいたします。また、青少年交換留学プログラム候補生の高橋英夏さんをお招きしていますので、あとでご挨拶をお願いします。



さて、先日はガバナー公式訪問で、マリオットアソシアホテルにて吉川ガバナーをお迎えし、名古屋みなとロータリークラブとの合同例会がありました。参加された皆様、ご足労いただき有難うございました。吉川ガバナーからは、RIの活動方針や2760地区として今現在、会員増強とポリオ撲滅に力を入れている、などのお話をいただきました。確かに私も、ロータリークラブにおける現在の最大の問題点は会員増強であると考えております。我々2760地区も少しずつ会員数が減少しつつありますが、これは当地区だけの問題ではなく、以前参加した会長エレクトの研修会では、全世界で年間4万人の新会員が生まれる一方、5万人の退会者が発生すると伺いました。世界で何が起きているのか、もしかしたら中東やウクライナで起きている地政学的な問題ですとか、メガテック企業など富が一部の人に偏りすぎているなどの問題で、ロータリークラブを担うべき良質な富裕層が減少してきているのかもしれない。しかし、私たちは私たちがなりに何が足りないのか、常に反省し、会員増強に粛々と努力をする必要があります。その問題で最近、かなり考えさせられる出来事がありました。先日、名古屋中央ローターアクトクラブの8月例会に参加してまいりましたが、大変驚いたことに8名いるローターアクターのうち2名が休会状態で、その2名は今の会長になる前からずっと休会しているとのことでした。さらに残る6名も体調不良などで会長以外の5名が欠

席しており、会長ひとりで点鐘し、ひとりでローターアクトソングを歌い、一人で司会し、ひとりで出席報告をおこない、誰も聞いていないのにひとりで会長挨拶をするという、涙なしには見られない、まさに地獄絵図のような状態でした。次世代のロータリアンの苗床である、ローターアクターが育成されていないという印象を強く持ちました。この点につきまして、藤田ガバナー補佐から提唱があり、名古屋みなとロータリークラブと名古屋名駅ロータリークラブ、名古屋丸の内ロータリークラブが集まって、名古屋中央ローターアクトクラブをいかに支援するか近日中に協議する予定となっております。本日ご出席の皆さんも、もし機会がありましたら是非ローターアクトの皆さんと交流する機会を設けてください。また、本日お越しのキムさんや高橋さんは将来のロータリアン候補ですので、当クラブとしても積極的に支援してまいりたいと考えています。最後に名古屋みなとロータリークラブの会長から、今回のガバナー公式訪問が終わったら会長の仕事はひと段落です、と声をかけていただきましたが、私たちにはまだ、2月20日のIM、3月13日の創立30周年記念式典が残っています。実行委員会の皆さんにはご面倒をおかけしますが、引き続きご協力をお願いいたします。それでは本日もよろしくお祈りいたします。

ニコBOX

- 今月は米山月間です。本日は米山奨学生のキム ジウォンさんにお話しいただきます。宜しくお願いします。
加藤会長、田中幹事、藤田、岩本、杉江、八木、磯部川原、河原、亀井、後藤、水野、田島、西川、成田、今村、恵利、梶谷、石井、長谷川、山崎彰子、松尾、高坂、堀江亮介、黒田 (敬称略)

本日合計 51,000 円

表彰

ロータリー財団委員長 長谷川龍伸



ロータリー財団年次寄付ポールハリスフェローとして武山卓史さんに記念のバッジと表彰状

を、マルチプルポールハリスフェローとして亀井克典さんに記念のバッジを、それぞれ加藤会長より伝達いたしました。
寄付にご協力をいただき有難うございました。

2025-26 年度青少年交換留学候補生ご紹介

青少年奉仕委員長 黒田覇太郎

本日は、次年度青少年交換プログラムの留学生候補者として選出されました当クラブから推薦の、高橋英夏さんにお越しいただきましたのでご紹介いたします。

【ご挨拶】

皆さんこんにちは。来年度の交換留学候補生になりました高橋英夏(ハンナ)です。デンマークを希望しています。一昨年フィンランドから来たリネアさんを受け入れ、すごいな、行ってみたいなと思ったことで決意しました。精一杯頑張りますのでよろしくお祈りします。



幹事報告

田中 如以

皆様こんにちは。11 月は財団月間という事で、14 日例会は長谷川龍伸さんに卓話をしていただきます。28 日の例会は夜間例会ですのでお間違えの無いようお願いいたします。恒例となりました「Make a Wish 支援チャリティ例会」です。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。それから 11 月 9 日、10 日に地区大会が開催されます。2 日目の集合時間を 10 時 45 分とし、総合受付のあたりで名札をお渡しします。お弁当も用意していますので朝ご飯を抜いていただいても大丈夫です。



米山月間ひと言スピーチ

地区米山記念奨学 副委員長 武山卓史



皆さんこんにちは。今日、皆さんのお手元に豆辞典という冊子があると思いますが、これに米山の概要が載っております。今年特に特筆すべきこととして、各クラブの卓話に訪問しているときにご紹介しているのは、今回 2760 地区の寄付額は全国一位であったということです。今までは全国平均を下回っていたのですが、22 ページをご覧ください。普通寄付全国平均額一人当たり 4909 円、特別寄付全国平均額一人当たり 12384 円、普通寄付というのは、当クラブでは一人 5000 円として上期と下

期に分けて 2500 円×会員総数分を寄付しているものです。特別寄付というのは会員個人または事業所で任意に納めて頂いているものです。こちらの去年の 2760 地区の一人当たり平均額は 36000 円くらいでした。これには理由がありまして、ある会員の方が一億円寄付してくださいました。この方にはいつも株の運用などでその配当を米山に寄付してくださったりと、とても貢献していただいております。この方の寄付を抜きますと、見事に全国平均を下回っています。特別寄付におきましては、わがクラブは皆さんから毎年一万円を寄付していただいておりますが、中にはプラス α で別途寄付して下さる方もいて、是非皆さんもこの特別寄付にご協力をお願いいたします。米山奨学生につきましては、当クラブではほとんど毎年受け入れていただいておりますが、今年のキムジウオンさんも大変成績優秀な方で、日本語もお上手です。是非皆さんから積極的に話しかけていただいて、来年の 9 月までの奨学期間に楽しい思い出を作っていただけるようご協力をお願いいたします。

米山月間卓話

米山奨学生 キム ジ ウオン

「自己紹介」

皆さんこんにちは。キム ジ ウオンと申します。キム ジ ウオンという名は祖父が付けてくれました。日本と同じ漢字を使っていますが、韓国での漢字の意味は正しい志を高く持って指導者になる。自分の目標に向かって進みながらも道徳的に正しい道を歩む人。という祖父の願いがこもっている素敵な名前だと思います。

	氏名	金 志元(キム ジウオン)
	年齢	1999年9月27日(25歳)
	出身	韓国(インドで11年駐在)
	趣味	写真・カメラ、動物の動画視聴、 カフェ巡り、田舎旅行
	家族構成	父、母、姉

韓国で生まれましたが、2~3 歳の頃に父の仕事の関係でインドに移り 11 年暮らし、韓国とインドを行ったり来たりしていました。趣味は写真で、カメラを持って田舎を旅行し写真を撮るのが好きです。動物の動画を見たり、おしゃれなカフェ巡りも好きです。家族は両親と 5 歳違いの姉の 4 人家族で、両親は現在インド在住です。姉は去年まではパキスタンの大使館で働いていましたが、今は韓国の国際協力団 KOICA で働いています。2002 年に韓国からインドへ行き、保育所などインドのローカルスクールに通いました。この現地学校では韓国人は私一人でした。幼稚園と小学校は 3 年生になる前まで国際学校に通いました。2008 年にインドから韓国に戻り、中学 3 年の時にまたインドに戻りました。そして幼稚園と同じ国際学校に通い、2018 年に卒業しました。大学入学が一年遅れているのですが、その理由は受験の時に、こんなに英語が話せるのだから世界に目を向けようと、留学を考えたからです。そして 2019 年に日本へきて大学に通い、2023 年に卒業して同じ大学の大学院に進み、現在は大学院 2 年生です。

韓国にいたときに住んでいた大邱(テグ)について紹介します。大邱は韓国の南側にあり、昔はリンゴが有名でした。最近では地球温暖化、異常気候でリンゴの栽培が難しくなっています。昔の言葉で大邱には美人が多いというのがあります。この大邱に生まれてから2歳まで、また小学3年生から中学2年生まで住んでいました。



インドにいたときに住んでいたチェンナイについて紹介します。インドの南に位置して海に近く、津波などに弱いです。台風も結構来るところで、学校が休校になることが結構多かったです。インドの下水施設があまり良くないので、自然災害が起こるとすごく困りました。インドは今、自動車市場世界第3位ですが、多分ここチェンナイに自動車工場が結構たくさん有るからだと思います。よく知られているのは、韓国のヒュンダイと日本のニッサンの生産工場があることです。



私の好きなインド料理を二つ紹介します。



ドサというのは米と豆を混ぜたものを、生地としてクレープ状にして焼いたものでそれをカレーとかに付けて、南インドでは朝によく食べます。イドゥリはこのパンのようなのも米で作られていて後味が酸っぱいです。南インドの料理の特徴は米が主食で、パンも米で作ることです。カレーは赤くてすごく辛いです。

私が通っていた国際学校はアメリカンインターナショナルスクールチェンナイで AISC と呼んでいました。学生数は

保育所から高校生まで合わせて 850 名です。そのうち 30%は韓国人、20%は北アメリカ人、25%はヨーロッパ人、8%はインド人、14%は日本人、それ以外の3%はタイとかアフリカなどから来た学生になります。なぜこんなに韓国人と日本人が多いかというと、先ほど紹介した自動車関係の仕事が多いので、その駐在員の子女が結構この学校に通っていたからです。



高校時代の部活動は主に3つしていました。1番目は動物保護施設のボランティアクラブ、このクラブでは4年間活動し最後には部長を務めました。学校から20分くらいのところにある保護施設で猫の世話や犬をお風呂に入れたり、施設の掃除をしました。台風などで被害が大変だった時は学校でドネーション活動をして寄付したりしました。2番目はオーケストラです。私は13年くらいフルートを練習していて、ほかの学校との合同公演などではソリストとして演奏しました。とても楽しかった記憶です。3番目はインドで現地の中学生に英語を教えるという活動をしました。学校でパソコンを借りて、ゲームをしながら楽しんで学べるように工夫しました。

大学は日本にある大学を希望していましたが、なぜ日本なのかというと、治安が良くて安心して一人で暮らせる、大学のカリキュラムが充実している、英語で授業が受けられる、という希望に当てはまる大学があったからです。日本には国際化拠点整備事業(グローバル30; G30)というものがあ、この事業が留学生にとっては大変魅力あるものです。この事業は優秀な学生や教師を受け入れ、日本の大学制度の国際化を図り、グローバルな社会で活躍できる人材を育てることを目的としています。この事業を取り入れている大学は13校です。



大学に入って主にしていたことは、チューター活動(NU-EMI)で英語の講義受講を希望する日本人学生のサポートです。このチューター活動でたくさんの日本人学生と話すことが出来たので、日本語をちゃんと勉強しようと思い、日本語能力試験の一級まで取ることが出来ました。大学でも部活動をしたかったのですが、ちょうどコロナの流行った時期でしたので、ZOOM を取り入れることができるチュー

ター活動を選びました。大学院に入ってから、ティーチングアシスタントをたくさんしました。英語を日本語に通訳したり、日本語の授業を受ける留学生の支援活動です。



趣味の話ですが、私は今オリンパスのカメラを持っています。自然の風景を撮り、補正してインスタグラムなどにアップする事が好きです。次にカフェ巡りですが韓国と日本でのカフェの写真を撮ることも好きです。個人的には韓国のカフェのデザートが好きですが、日本のキャラクターとコラボしたデザートも好きです。

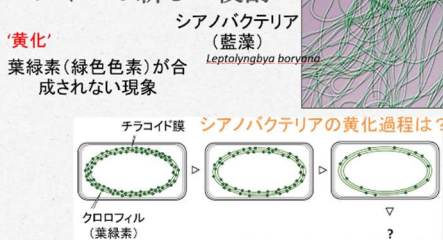
そして旅行ですが、田舎の旅行が好きなので香川県の小豆島とか高松、飛騨高山に行きました。一番良かったのは高松の栗林(りつりん)公園でした。日本の庭園が好きなので夢の一つが日本の庭園を一周する事です。就職する前にできればと思います。次に食ですが、日本に留学を決めた理由の一つが、料理がおいしいことです。日本で一番好きな料理はうどんです。日本に来てビックリしたのはインド料理が結構多くて、実際にネパール人とかインド人がやっているお店が多いことです。インドにいかなくてもナンとかカレーを食べられるのが良かったです。韓国料理で好きなのはトッポッキと鶏料理です。

最後に私が所属している研究室について紹介します。「ゲノム情報機能学研究室」といいますが、私自身は遺伝子は全然さわっていません。細胞内の生理学の研究を行っているので、この研究室に所属しているという意外だと良く言われます。

研究テーマはシアノバクテリアのチラコイド膜と光化学系形成におけるクロロフィルの新しい役割です。

研究

シアノバクテリアのチラコイド膜と光化学系形成におけるクロロフィルの新しい役割



簡単に言うと、緑色植物を暗所で育てたときにもやしになるんですが、この時になぜもやしになるのか、なぜこの色になるのかを調べてみたら、これは結構昔の研究なのですが、葉緑素が合成されないからであることがわかりました。これを黄化現象と呼ぶこととなります。私は今、シアノバクテリアで黄化過程が起こると、どのような変化が観察されるのかについて研究を行っています。シアノバクテリアの細胞内には、葉緑素と結合したたんぱく質が多数存在します。そして、このたんぱく質はチラコイド膜という膜構造に結合しています。暗所で細胞を育てると、葉緑素の合成が停止し、チラコイド膜や細胞内の構造に変化が生じます。具体的にどのような変化が起こるのかを調べています。この研究をもとに学会でたくさん発表しています。ほとんどは光合成に関する学会で発表をしています。一番印象に残っているのは今年の9月に行われたAOICPとい

う学会ですが、国際学会だったので中国とかオーストラリアからたくさん生徒や先生がいらっやって、意見交換をしながら知り合う事ができました。

今は頑張って実験しながら、就活も行っています。私の好きな日本語は「頑張る」です。なぜかという、やる気がない時に「キムちゃん、ガンバってね」と言われるとすごくやる気が出るようになることが多かったので、結構好きな言葉です。

以上です。ご清聴ありがとうございました。



米山奨学金贈呈

キム ジ ウォンさんに米山奨学金 10 月分を加藤会長からお渡ししました。



今後の例会予定

- ※ 11月7日(木) 休会 11/3「文化の日」
- 11月14日(木)「財団月間卓話」
- ※ 11月21日(木) 休会 11/23「勤労感謝の日」
- 11月28日(木) 例会変更「Make a Wish 支援夜間例会」
- 12月5日(木)「年次総会」
- 12月14日(土) 例会変更「Xmas 家族会」
- 12月18日(木) 外部卓話
- ※ 12月26日(木) 休会 定款第7条第1節-(d)により
- ※ 1月2日(木) 休会 「正月三が日」

